

令和3年度

全中道研 会報

No. 4 令和4年2月14日

全日本中学校道德教育研究会

ブロック大会関東甲信越大会

(埼玉大会)地区報告

関東甲信越地区道德教育研究会長 島方勝弘

1 研究主題

人としての生き方についての考えを深め、
よりよく生きる生徒を育てる道德教育の創造
～学習指導要領が求める道德教育の
実践を通して～

2 期 日

令和3年10月22日(金)オンライン開催

3 会 場 幸手市立幸手中学校

4 大会概要

人間は本来、人間としてよりよく生きたいという願いをもっている。この願いの実現を目指して生きようとするところに道德が成り立つ。道德教育は、人間が本来もっているこのような願いや、よりよい生き方を求め実践する人間の育成を目指し、その基盤となる道德性を養う教育活動であるといえる。

このような道德教育本来の在り方を重視し、内なる自己との対話を通して、他者や人間社会集団、自然、そして目に見えない崇高なものとの関係性においてよりよい生き方を求め、実践できる子どもたちを育む視点を重視し、本大会研究主題を設定した。

【 開 会 行 事 】

- 関東甲信越中学校道德教育研究会会長挨拶
- 来賓祝辞

【 公 開 授 業 】

ブレイクアウトルーム (zoom) による13
授業での協議 (VTRによる授業公開 授業
者による授業解説 協議 指導等)

幸手中学校研究の重点 (要旨)

- 道德的価値を意識した各教科・各教育活動の研究
- 道德的に学習ができる学校環境の研究
- プランニングシートを活用した効果的な授業
- 1時間毎の効果的な振り返りとカードの活用
- 「意見交換」の活発化、そのためのICTの活用
- 道德教育における学校・家庭・地域連携



<公開授業：ブレイクアウトルームによる協議会>

【 分 科 会 】

第1・2分科会

道德科における多様な指導方法

- 提案：東京都府中市立府中第四中学校
埼玉県吉見町立吉見中学校
神奈川県綾瀬市立綾瀬中学校
埼玉県加須市立加須西中学校

第3・4分科会

道德科における評価の工夫

- 提案：群馬県邑楽町立長柄小学校
茨城県桜川市立桃山学園
栃木県那珂川町立馬頭中学校
埼玉県さいたま市立木崎中学校

第5分科会

学校の教育活動全体を通して行う道德教育

提案：山梨県上野原市立上野原西中学校

埼玉県春日部市立豊春中学校



<オンラインを視聴する来校された参観者>

【 記 念 講 演 】

演題『いま求められる道德教育の推進』

講師

文部科学省初等中等教育局教育課程課

教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター

研究開発部教育課程調査官

飯塚 秀彦 様

【 閉 会 行 事 】

○大会実行委員長、会場校校長挨拶

○次期開催県紹介・挨拶（群馬県）

5 成果と課題

本大会は、オンライン参加と会場参加という新たな形での開催となった。関東各地から多数の参加をいただき、本研究大会で求めていきたい道德教育の充実のための視点に沿って、各分科会で熱心に協議を深めることができた。各地の道德教育の状況や様々な実践について情報を共有できたことは大きな成果である。

GIGAスクール構想に基づき道德科としてのICTの効果的な活用方法や道德科での学びをいかに展開していくかなど、これからの取り組むべき課題は多々ある。今後も、改訂された学習指導要領の更なる具現化を目指し研究を深めていく。

ブロック大会近畿大会(京都大会)報告

近畿中学校道德教育研究会長 中島 一郎

○期間

令和3年11月24日(水)～26日(金)

公開授業映像及び各分散会の研究発表・

指導助言映像の公開期間

令和3年11月26日(金)

指導講評及び記念講演

○方法

京都市立中学校教育研究会道德部会ホーム

ページでの映像公開、オンラインでの指導

講評・記念講演の開催

○内容

大会主題「より良い生き方を模索し、社会

の中で協働的に生きる力を育む道德教育」

～「つながり」が醸成する豊かな心～

<公開授業映像>

京都市立西京極中学校

研究テーマ 「自ら課題を探求・解決し、他者に貢献できる学力の育成」

～つながりを大切にした学力の向上～

研究内容

①道德での学びと教科での学びがつながる授業実践

②道德授業での対話から道德的価値を学ぶ授業実践

京都市立山科中学校

研究テーマ 「リレーローテーション道德による教材研究の推進と指導力の向上」

研究内容

①教材をリレーすることによる教材研究の推進

②同一教材で他学級を指導者がローテーションすることによる指導力の向上

③授業展開における補助発問と板書の工夫

<分散会（研究発表・指導助言映像）>

滋賀県「オール滋賀」で取り組む「紙面上指導案検討会」

発表者 甲賀市立甲賀中学校教諭
井原 亜矢子

助言者 甲賀市立土山中学校校長
木村 かおる

兵庫県 自他を大切にし、学び合い高め合う
児童生徒の育成

発表者 姫路市立菅野中学校教諭
菅野 道代

助言者 姫路市教育委員会人事教育課
管理指導主事 渡邊 雅人

和歌山県 白浜中学校の取り組み、道徳科全
体計画の見直し、評価方法について

発表者 白浜町立白浜中学校教諭
中村 僚太

助言者 和歌山県教育委員会
紀南教育事務所指導主事 岡 久美子

大阪府 「自ら考え、学ぶ力」と「向上心を
持って成長し合えるつながり(集団)」
の育成

発表者 豊中市立第十六中学校教諭
玉城 明子

助言者 豊中市教育委員会学校指導課
指導主事 石走 海景

奈良県 「問題解決的な道徳科の授業の創
造」に向けた奈良県の取組と実践

発表者 生駒市立生駒中学校教諭
海老 毅

助言者 香芝市立香芝中学校校長
関川 圭造

京都府 「考え議論する道徳」を生む「発問
の立ち位置」の在り方

発表者 精華町立精華中学校教諭
木村 徳宏

助言者 京都府教育庁指導部学校教育課
指導主事 高橋 友紀

< 指導講評 >

講師：関西外国語大学教授 太田和男氏
京都市立西京極中学校と京都市立山科中学
校の公開授業及び研究内容について、学習指
導要領の内容を踏まえた視点から講評をいた

だきました。

< 記念講演 >

講師：京都産業大学教授 柴原弘志氏
演題「特別の教科 道徳」における質の高
い学習指導と評価をめざした取組
学習指導要領に即した質の高い道徳授業の
在り方や、道徳科における指導と評価の一体
化について、草津市立新堂中学校の取組など
に触れながら、評価の視点を中心にお話し
いただきました。

ブロック大会中国大会(山口大会)報告

中国地区中学校道徳教育研究会長 山本 優

○期間

令和3年11月19日(金)～12月17日(金)

○方法

ビデオオンデマンド方式で、第5回中国中
学校道徳教育研究大会山口大会兼山口県中
学校道徳教育研究大会周南大会を開催

○内容

研究主題「人間として、共によりよく生き
ようとする力を育てる道徳教育」
～「考え、議論する」道徳科の授
業の創造と実践～

中国地方各5県での研究の成果を発表

基調提案

岩国市立津津中学校

加藤浩久校長

公開授業

周南市立岐陽(きよう)中学校、周南
市立住吉中学校6クラス(事前録画)

研究発表

四つのテーマに分かれての中国
各県から発表

公開期間

11月19日(金)～11月30日(金)

授業及び研究発表に関する質問・
意見・提案等をWeb上で受け付け、適
宜回答した。

指導講評

12月1日(月)～1月14日(金) 公開
文部科学省初等中等教育局

教育課程課教科調査官
国立教育施策研究所教育課程研究センター
研究開発部教育課程調査官
飯塚 秀彦 様

< 公開授業 >

周南市立岐陽中学校

- 1年 内容項目「郷土を愛する態度」
教材名「アップルロード作戦」
授業者 山口敬晶教諭
- 2年 内容項目「自主、自立、自由と責任」
教材名「お前のカワウンがさびしがつているぞ」
授業者 京城実穂子教諭
- 3年 内容項目「遵法精神、公德心」
教材名「元さんと二通の手紙」
授業者 大谷友香子教諭

周南市立住吉中学校

- 1年 内容項目「友情、信頼」
教材名「吾一と京造」
授業者 岡政史生教諭
- 2年 内容項目「社会参画、故郷の精神」
教材名「迷惑とは何ぞ」
授業者 高橋遼汰教諭
- 3年 内容項目「家族愛、家庭生活の充実」
教材名「母と子のロードレース」
授業者 古林伸浩教諭

< 課題別分科会 >

第1分科会「道德教育の推進体制の確立」

提案者 鳥取市立鹿野学園 前田静香教諭
萩市立越ヶ浜中学校 森田貴美子教諭

第2分科会「道德科の特質を生かした学習指導の展開」

提案者 浜田市立第二中学校 品川佳代教諭
下関市立川中中学校 廣森香純教諭

第3分科会「現代的な課題に対応した道德科の工夫」

提案者 庄原市立口和中学校 辻坊雅美教諭
山口市立平川中学校 若原玲奈教諭

第4分科会「道德科における指導と評価のあり方」

提案者 倉敷市立味野中学校 丸川夢佳教諭
下松市立下松中学校 永光史宣教諭

コロナ禍において、対面での意見交換や協議が難しくなり、次善の策としてWeb上での開催となりました。

開催に向けて、公益財団法人上廣倫理財団の協賛をはじめ、民間組織による特設ホームページの作成・運営等の支援がなければ、到底開催は危うかったと思います。その一方、距離的問題がなく、中国各県から多くの参加者（281名）があり、参加者の希望の時間で参加できたことは、結果として良かったと考えています。

学校においては、修学旅行や学校行事の縮減、地域との連携の場の中止等が相次ぎ、それに変わる教育活動の模索が続いています。道德級育は学校教育の中核でもあり、授業改善を中心とした研究・研修は欠かせません。

今回の授業と研究発表を提供していただいた先生方の熱い思いと研究成果をもとに、次回大会に向けて研究の更なる深化を求めています。

「研究を止めることは、道德教育の衰退につながるのではと思う。「特別の教科 道德」になり全国的に道德教育の重要性が見直され、各地域で取り組んでいる最中でのコロナウイルスである。それにより道德科における研究活動を止まらないようにすることが大切だと考えている。」

これは、令和2年度 会報No.1の吉田会長のコメントです。令和3年度のブロック大会は、北海道・関東甲信越・東京・近畿・中国・四国・九州（兼全国大会）の7ブロックで開催（開催予定）となっています。

参加者全員が参集できない状況ではあったものの、それぞれのブロックが工夫しながら研究を前に進めていただけている様子が、少しでも伝わればと思い、原稿を寄せていただきました。

ありがとうございました。